

徳之島町 町誌編さん だよ

(徳之島町内全戸配布)

第6号 2019.08.10



シマ（集落）の暮らしの様子を教えてください！

徳之島町誌民俗部会 部会長

町 健次郎

(瀬戸内町教育委員会学芸員)

きゅがめら、徳之島町のみなさま、はじめまして！

私は、奄美大島南部・瀬戸内町の郷土資料館で働いている町健次郎と申します。瀬戸内町は徳之島町の隣町です（海をはさんでいますが）。古仁屋の市街地には徳之島をルーツとして過去に移住されてきた家も多々あります。また、加計呂麻島・請島・与路島から南を眺めると、いつも美しい徳之島町全域の島影が見えています。

この度は縁あって、徳之島町誌を作る仲間に入れていただきました。これから年に数度、徳之島町を訪ね歩き、島の先輩方にお話をうかがうことになりました。瀬戸内町役場の職務の間をぬっての遠方から参加ではありますが、できるかぎり努力したいと思っています。

私は、伝統文化・暮らしのなかの行事・信仰などをまとめる民俗部会の担当です。と申しましても、私は徳之島の出身者でも生活した経験があるわけでもなく、知らないことだらけです。そんな私がお手伝いすべきことは、細々と学生時代から続けている郷土研究の方法によって、鹿児島から沖縄まで各地で調査に参加してきた経験をもとに、出身地である与論島、現在生活している名瀬や瀬戸内町との比較の観点から、徳之島町のおきよき時代を記録するとともに、きらりと光る宝物を探していくことです。

さて、昭和45年に発刊された『徳之島町誌』ですが、すでに50年が経過し、さらに時代は令和に代わりました。その装丁ばかりは古書として映ってしまうかもしれませんが、その内容は、発刊当時では自治体誌としては珍しく、高度成長期に消えつつあった昔の生活道具（民具）なども項目に盛り込むといった意欲的な挑戦が高い評価を受けていました。また、今となっては調べることができない貴重な情報を留める役割を現在も果たしていることはいまでもありません。こうした新たなアイデアを盛りこむ気概や冒険心、そしてタイムカプセルの役割を、今回、新たに編さんする町誌でも引き継ぐことができたらと思います。

奄美群島のなかで、徳之島は奄美大島とともに世界自然遺産の候補地にもなっている生物多様性に恵まれた島ですが、多様性を持つのは自然だけではなく、集落(シマ)が持っている伝統文化も多様性に満ちていると信じています。そのことを、令和の新しい『徳之島町史』地域編を通し、島内外に伝えることができたらと思っています。どうぞよろしく願いいたします。(令和元年5月22日記)





【訃報】 町誌編纂審議会委員の寶田辰巳氏が逝去

昨年度来より当町誌編さん審議会委員を務めておられた寶田辰巳氏が4月24日にお亡くなりになりました。享年82歳でした。この場を借りて謹んでご冥福をお祈り申し上げます。合掌

町誌編纂審議会・町誌編集委員会・町誌編纂室一同

これまでの町誌編さん事業日誌

年	月 日	内 容
平成31年	4月 1日	徳之島町誌専門部会委員委嘱手続き文書発送
	4月 9日	徳之島町役場花徳支所資料調査実施
	4月18日	尾母小中学校所蔵資料調査・収集実施
	4月22日 ～24日	民俗部会尾母地区予備調査実施
令和元年	5月 7日	徳之島町誌叢書(2) (名称未定) 編集作業開始
	5月 8日	民俗部会亀津南区地区予備調査実施
	5月10日	亀津字戸蔵ナガソ原トンネル調査
	5月23日 ～25日	民俗部会尾母地区補充調査実施
	5月24日	地域文化部会・民俗部会会議開催
	6月14日	自然部会会議開催
	6月18日	亀津小学校所蔵資料調査・収集実施

亀津南区集落調査状況



亀津字戸蔵ナガソ原トンネル調査



今後の予定

年	月 日	内 容
令和元年	7月 6日	先史・古代・中世部会会議開催
	7月 下旬	町内小・中学校資料調査・収集(中部・南部)
	8月2日	近・現代部会会議開催



※ お手元に古写真や古文書等がありましたら、町誌編さん室へご連絡ください。

なお、ご提供いただいた資料については、ご許可いただいたうえで複写作業を行い返却いたしますので、なにとぞご協力くださいますようお願いいたします。

〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 2918

徳之島町生涯学習センター3階(徳之島町郷土資料館内) 電話番号: 0997-82-2908

徳之島町誌編纂室

本紙編集担当 : 岩下洋一

※ 徳之島町役場では、条例等の法令名や、事業名・部署名については「編纂(へんさん)」の表記を使用しています。本紙では、発行元名を除いて、町民への広報としての役割から「編さん」の表記で統一しています。ご了承ください。